

慎太郎ルポ

●事前準備のこと(3月12日～13日)

漫画ミュージアムで50年展の手伝いへ。

会場にいくと、女性二人だけ。

ただ担当の金ちゃんがすでにカリカリ。なにより作品が集まってない。

最終的にやれること…額を整理して、まとめて置く。作業場を作ってすぐに作業に移れるようにする。

まあ下準備だけでもしておかないと、明日からが大変。

itoさんと小倉駅で待ち合わせてitoさん宅へ泊まりに。

奥さんは孫の世話で東京に行ってるので、当然itoさんの手料理、おでん。

翌日は早めに行ったけど、金ちゃんがきてないので何をするのかわからない。しょうがないので昼飯にしようとしたら金ちゃん登場。あちこちに作品の催促したので遅れたそう。やっぱり金ちゃん是可以る子でした。

ようやく私たちは歴史展示へ…多量の「あお」の整理。大量なので展示方法で大もめ。まず展示台を3台用意、後は入れるものの確保。資料を集めて目分量でみたら…入るか、これ？

しかも、年代設定が難しい…強引に1年ごとにチェック。「ふせん」をつけて分類分類。時系列ごとに整理して並べて、ダブリはすべて展示台の下の箱部分に分離してしまいい込む。

多少は整理できたので、私は引き揚げた。なんせ明日は明日で朝っぱらから町内清掃の日。

さぼれない。

そういや、19日オープニングは朝っぱらから来てほしそっだし、19日の夜のパーティーは最初から覚悟してたけど、20日の方も出ると時やんが怖い顔してた。

●デスマッチの予感(3月18日)

明日からはアズ展で気を使いそう・・・体力は足りないけど夜は飲み会だし、本当は明日で帰るつもりでいたけど

2日連続で講演、そのアドバイザー?というか、振られたら何か話さないといけないらしい。そういえばコミケの

前身を知るのは私くらいか、どおりでと時やんが怖い顔で20日もあるよと言うはずだ。

せいぜい展示の手伝いを1~2日すればと思っていたので、ろくすっぽ打ち合わせなどにも参加してない。

おかげで逃げたくても逃げられない。

・・・なんかデスマッチの予感がする・・・

●45年ぶりの再会(3月19日~21日)

19日から始まり、21日までの2泊3日。

原田との45年ぶりの再会。

座談会の前準備と銘打った二人+2の打ち合わせ。

オープニングパーティ。

20日の公開座談会。

そのあとの原田との二人っきりのぱかつ話。

新幹線にのる原田を見送った時間。

『手術したばかりで体調崩してなのに無理してくることないのに』

連続の飲み会で口が滑った・・・見送った時に眼から・・・なんて言うこっちゃないよな。

三日連続の寝汗で夜中に起き出し、この三日まともに寝てない。

それで もなんとか付き合っ、夕方に北九州を出る。

ただ、この3日についてもっと詳しく書かないとすねる人がいるので・・・少し時間をおいて・・・

落ち着いたら・・・

きっと・・・

なんとか・・・

たぶん・・・

まあ・

●オープニングのこと(3月19日)

アズ 50 年展オープニングセレモニーが終わって、雑談してたら突然人を連れてこられ・・・???

なんと原田でした・・・

何か恰幅の良いおじさん風・・・最初の言葉が「お前、大人になったなあ」

45 年前は痩せてかなりエキセントリックな奴だったんだぞ。こんな静かに話すなんて・・・

後で肺の手術をしたばかりで、味もわからない状態ときいて驚いた。

もうこのへんから記憶があいまい・・・

昼食後に二人で雑談・・・昔の話を確認め合うようにしてたような。

オープニングパーティは欠席するというので、部屋まで送った。

オープニングパーティ。

営業マンのころの癖がでたのか、みんなに注いでまわる。二次会にもいってitoさん宅へ。途中で占部氏を拾う。

問題は寝てから・・・占部氏と二人、布団をならべたのだが、昨夜が寝汗で大変だったように、今夜もやっぱり寝汗を何度も拭くはめに。

そんなこんなで初日は終わった。

そういや展示見なかったような・・・

●原田を見送る(3月20日)

余裕ができたので、二日目のことも・・・

13時から座談会。表氏の司会。

とつとつと話す原田。真面目にしゃべる米沢君の奥さん。ペラペラしゃべる私・・・緊張感まるでなし、ついでに云うと浮かれてたわけでもない。すこぶる平常心で、当たり障りのない範囲で話したと思うが、何を話したかは記憶にございません。

座談会のあと原田が話したがってたので、若手の座談会をパスして、原田と二人きりで話す。

基本昔話というより、あれから何があったのかとか、現在の漫画界の状況とか、割とマジな話。でもあつという間に時間は過ぎ、新幹線の時間がきた。

丁度予定も 終わって、みんなで飲み会に行くのと原田を見送るのが被さったけど、待っててくれると言うので、駅まで二人で歩いて言った。

特に話すこともなかったけど、改札口へ。

「ここでいいよ」

「改札入るまでみてるよ」

駅内は結構人が多かったけど、原田は振り返って手を振った。

『いい年したおっさんのやることじゃないよ』とぼやきながら振り返す。それが三度繰り返された後、人ごみのなかに消えた。

目が熱くなるよな。ならなきや人間じゃない・・・そんなこと思った。

最初の山場を越えた飲み会・・・結構みんなはしゃいで楽しそう。

そのあとはいつものように ito さん宅へ。よく泊まるよなあ。ito さんが独身アパートに住んでいた頃に泊まってから、何回泊ったことか。

●驚いたのは・・・(3月21日)

自分がした「あお」の展示などどうでもいいし、昔の作品展示も以前の展示会で見るから、どうでもいい。

まず新作・・・しいたけさんを中心に若手の画力が上がってましたね。それがまず目についた。

玄関の古臭い展示は・・・実は何も感想がないというか、「昔はああだったね」の一言。私の中にはこの手のノスタルジイに共感するものがほとんどない。

驚いたのは、3本組のビデオでした。『若いなオレ』『なんでこんなに出てるんだ』私には写真を撮る趣味がないので、これだけ古い写真があることに驚いた。

そういうわけで、50周年の最初は終わった。

家に帰り着いて、ふっと息をつきながら・・・

原田「福岡に来ることがあったら泊めてくれ」

私「いいよ。でも三日前に連絡くれ。掃除するから」

そんなことを思い出した。